

DERWENT-ACC-NO: 2004-263161

DERWENT-WEEK: 200425

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Ultraviolet radiation/sterilization dryer for
shoes,
carpet, supplies hot air or irradiates
ultraviolet rays,
so as to dry and sterilize shoes, carpet

PATENT-ASSIGNEE: SENRYO SUSHI YG[SENRN]

PRIORITY-DATA: 2002JP-0262829 (September 9, 2002)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	MAIN-IPC	PUB-DATE	LANGUAGE
PAGES JP 2004097467 A 003	D06F 058/14	April 2, 2004	N/A

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
APPL-DATE JP2004097467A September 9, 2002	N/A	2002JP-0262829

INT-CL (IPC): D06F058/14

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2004097467A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - A dryer supplies hot air or irradiates ultraviolet rays through ultraviolet tube (c), to the objects such as shoes, carpet, bedding, so as to dry and sterilize the objects.

USE - For drying and sterilizing athlete's foot in shoes and for removing house ticks in clothing, carpet, bedding.

ADVANTAGE - Enables efficient sterilization of objects by ultraviolet radiation and hot air.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows a schematic view of the ultraviolet radiation/sterilization dryer.

propeller a

heater b

ultraviolet tube c

reflecting plate d

motor e

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/1

DERWENT-CLASS: X27

EPI-CODES: X27-A02B1B;

FIG. 11.5.4.2.100 - U.S. Patent

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開2004-97467

(P2004-97467A)

(43)公開日 平成16年4月2日(2004.4.2)

(51) Int.Cl.⁷

D06F 58/14

F I

D06F 58/14

テーマコード(参考)

4L019

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 3 頁)

(21)出願番号

特願2002-262829 (P2002-262829)

(22)出願日

平成14年9月9日 (2002.9.9)

(71)出願人 300012457

有限会社千両すし

秋田県南秋田郡五城目町鶴の木92-12

(72)発明者 加賀屋 誠

秋田県南秋田郡五城目町字鶴ノ木92-1

2

Fターム(参考) 4L019 CA02

(54)【発明の名称】紫外線殺菌乾燥機

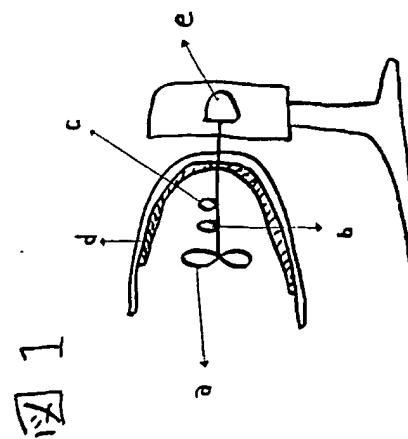
(57)【要約】

【課題】衣類や布団、靴、絨毯、布団等をその場で乾燥させなおかつ薬に頼らずに水虫を殺菌し、家ダニを殺虫できること。

【解決手段】紫外線を集光し照射し補助ヒーターで適度な温風(洗濯物の衣類を傷めないようにこの場合は40°C程度)や必要な熱風(この場合は殺菌殺虫出来る60°C以上から80°C程度)を発生させ、プロペラを扇風機とは逆方向に回転させて集光板に当たって跳ね返った温風や熱風を洗濯物や靴や絨毯、布団等に送風することで乾燥と殺菌殺虫が薬を使用せずに同時に出来るようになった。

【選択図】

図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

紫外線や熱風で殺菌、殺虫し、温風で洗濯物や、靴、布団等を乾燥させる事が出来て、なおかつ簡単に持ち運びの出来る機械。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明が属する技術分野】

本発明は、温風による乾燥に、紫外線を照射することで自然な日光での乾燥に近い仕上がりに近づける事と、設置型の乾燥機と違い簡単に持ち運びが出来て洗濯物の乾燥を物干しに干したまま補助乾燥が出来るようにした事と、薬に頼らずに熱風により靴や、絨毯や布団等に潜む白鮮菌や家ダニを殺菌殺虫出来る機械を提供することにある。

【0002】

【従来の技術】

乾燥機はその機械の中に洗濯物を入れて熱を加えてドラムを回転させて乾かす方式が主流であるが、近年は洗濯機と一体型の機種もある。

【0003】

布団乾燥機は温風を吹き出させて乾燥させる。主に布団専用ではあるが部品を一部取り替えて靴の乾燥等も出来る。

【0004】

以上見てきたように、方式の違いが明白である。1台の機械で洗濯物と布団、靴等を乾燥させることは出来ない。

【0005】

家ダニや水虫（白鮮菌）は熱に弱いので補助ヒーターを使い60℃以上の熱風で死滅させることが出来るので、靴や体重計、絨毯、布団等に潜んでいる家ダニや白鮮菌を薬を使用しないで殺菌殺虫出来る。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】

解決しようとする課題は、洗濯物を乾燥若しくは物干しに干したままの状態で補助乾燥が出来、布団や靴等も乾燥出来るようにすると共に、絨毯や布団に潜んでいる家ダニや靴に潜む白鮮菌等を薬を使用せずに殺虫殺菌が出来る様にする事である。

【0007】

【課題を解決するための手段】

本発明は、人体や衣類に有害な紫外線では無く、UVカットされた紫外線を発生させる紫外線管を使い、これを集光板で集めて投光し、補助の熱源としてのヒーターで40℃程度の温風や60℃から80℃程度の熱風を送風することで可能になった。

【0008】

【発明の実施の形態】

扇風機の傘の部分を懐中電灯に変え、この中にプロペラを取り付けた機械だと考えると理解しやすいかと思われる。具体的には扇風機の傘の後ろ部分に集光板を貼って投光器を作る。次にプロペラの後ろに紫外線管とヒーターを取り付ける。このヒーターは温風と熱風とを作り出す為に温度設定を切り替える事は当然であるし、投光器の部分の加熱を防ぐために通常の扇風機と違いプロペラの送風の向きを逆方向として集光板に当て跳ね返った風を洗濯物や靴、絨毯、布団等に当てる構造にする。

【0009】

【実施例】

図1は、本発明装置の概略図である。

【0010】

【発明の効果】

以上説明したように、温風を吹き付け紫外線を照射するこの方式は洗濯物を乾燥、若しくはベランダの物干しなどに簡単に移動して補助乾燥させるだけではなく、熱風により靴に

10

20

30

40

潜む水虫の殺菌、絨毯に潜む家ダニの殺虫等も出来る。

【図面の簡単な説明】

【図1】扇風機の傘部分を集光器の形状にした本発明機の図である。

【符号の説明】

- a プロペラ
- b ヒーター
- c 紫外線管
- d 反射板
- e モーター

【図1】

